

# マサチューセッツ工科大学を体感



正門を入った中、古代ギリシャ神話に登場しそうな柱と、20メートルはありそうな天井があった。

MITの正門。多くの人が行きかっていた。正面にある扉はスライド式ではないのに近づくと開く自動ドアだった。



## 学生たちとともに

研修2日目、私たちはマサチューセッツ工科大学(MIT)を見学した。世界の技術者達が集まるこの大学は非常に広い面積を持ち、あちこちに古い歴史を持つ建物が立ち並んでいた。この日の昼はMITの学生数人と、班に分かれてそれぞれ

れが英語で話をしながら、昼食を楽しんだ。3日目は、原子力研究機関を訪れ見学の後、講義を受けた。



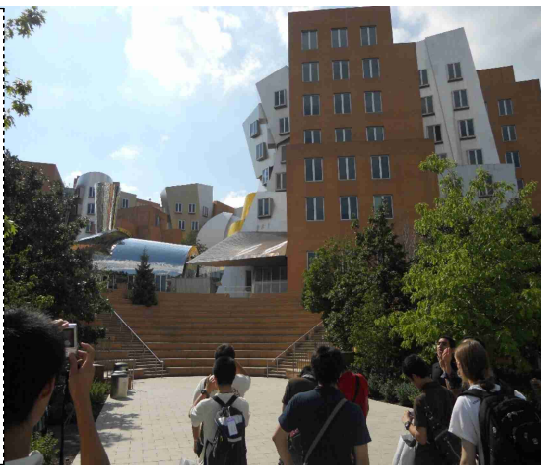
速報新聞

### キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

### 新聞部

MITの中にはユニークな建物があちこちに並んでいた。話によると、MITの生徒は他人と同じことはしたくないプライドを持っているらしく、建てられているもの全てが違う形をしていた。



MITは今年で創立150年になる。この像はそれを記念したオブジェで、数字や記号で形作られていた。

3日目、今回私たちは特別に原子力研究施設に入れてもらった。その施設では小型の本物の核分裂炉が実際に稼働していて、放射線測定機が常に稼働していた。その後、私たちはMITの教授による核分裂の仕組みなどの講義を受け、その日の日程を終えた。



MITの教授による英語の講義。中には英語で質問する生徒もいた。

## 原子力研究施設を見学